

## 第 21 回「戦争と医の倫理」の検証を進める会世話人会 会議報告

- ◇日 時 2012 年 9 月 2 日(日) 10 時 30 分～16 時 全体会議  
◇場 所 東京・保団連会議室  
◇参加者 赤羽根巖、石川徹、西山勝夫各代表世話人、岡田朝志、光石忠敬各常任世話人、香山リカ、刈田啓史郎、川嶋みどり、村林彰各世話人  
(事務局) 原文夫、相場康文、杉浦秀明、小林耕治、室井正、曾根貴子各氏

◇議長 石川徹代表世話人

\* 新任担当事務局の曾根貴子氏 (保団連事務局 7/21 入局) が紹介された。

### ◇報告及び協議事項

#### 1. 第 20 回各世話人会 (12. 7. 1) 会議報告の確認について

提出の報告案で了承した。

#### 2. パネル集 (案) のまとめについて

7/13 の代表世話人・事務局長会議で、世話人会での検討で課題とした問題を含めて、パネル内容の表現等を整理するとともに、外国語訳への翻訳を依頼した旨の経過報告が行われた。

また、整理した「パネル集」(案) が配布され、修正等を行った「目次」「はじめに」「各パネル」17 枚の内容を説明しつつ、世話人会として再確認した。

#### 3. パネル展示・国際シンポの準備状況について

##### (1) 明治大学登戸研究所資料館について

資料館より資料館のHPで紹介する文案が提示され、その内容を確認するとともに、広報をお願いすることとした。

また、パネル展示の冒頭に、パネルを展示する趣旨、主な内容を紹介する「はじめに」のパネル案を検討し、資料館とも確認のうえ展示することを了承した。9/6 (木) に資料館担当者と展示設営の打合せを予定している。

##### (2) 立命館大学国際平和ミュージアムについて

ミュージアムとしてミニ企画展示を紹介するチラシを発行したこと。ミュージアムとして広報用の京都大学記者クラブ宛「ニュースレター」、及びパネル展示会場でパネル展示を紹介する「はじめに」の文案が提示され、それぞれ確認しお願いすることとした。

##### (3) パネル集の作成準備 (見積、翻訳、販売の準備など) について

三恵社からの見積もりが報告された。日本語版については、定価を税込み 2,000 円とすること。英語版は 200 冊、中国語、韓国語、ドイツ語は各 60 冊、定価の予定は 4,000 円とした。

##### (4) パネル集作成関連一岩井論文抜き刷り資料作成について

岩井論文を掲載した日本精神神経学会誌からの抜き刷りについては、2000 冊発行で 121,443 円の見積もりが出され、発注することとした。

##### (5) 開催チラシの配布と開催案内について

この間、関係団体・賛同者などに、チラシ 52,000 枚と開催案内 (広報、募金の協力を含む) を送付したことが報告された。

#### 4. 次回日本医学会総会等への対応準備、資料公開要求について

(1) 京都府保険医協会今年度活動方針「医の倫理問題に関連して」

7月29日に開催の京都府保険医協会の総会方針で、「医の倫理問題」に取り組む旨の方針が出されたことが紹介された。今後、懇談等も行い連携を強めていくこととした。

(2) 衆議院外務委員会（6/15）服部良一議員の質疑について

6月15日（金）の衆議院外務委員会で、服部議員は731部隊金子順一論文が発見されたことに触れながら、調査機関を設けて事実調査などを行うよう求めた。答弁した玄葉外務大臣は、「歴史学者等のさらなる調査を待ちたい」との答弁に終始した旨の国会議事録が紹介された。今後も国会で取り上げられるよう努力する。

#### 5. その他

(1) 「月刊保団連」8月号特集で、「戦争と医の倫理」問題が取り上げられ、香山リカ、松村高夫各世話人の論文掲載が紹介された（「月刊保団連」8月号配布）。

(2) シンポジウム「遺棄毒ガス兵器による健康被害の実態と十五年戦争」について

10月21日（日）東京大学で開催されるので参加をとの呼びかけが行われた。

(3) 次回開催予定 10月8日（日）10：30～16：00 保団連会議室

(4) その他

以上